JAだよりおおがた
Ogata
7
JULY
2018 No.540

特集 第49回ＪＡ大潟村通常総会 04

今月の表紙 **イトトンボ**

今から10年ほど前の８月上旬に撮影しました。どうしてもこの瞬間を収めたくて、朝露が残る午前５時に自分の圃場でじっとシャッターチャンスを待っていました。

撮影／大潟村写真クラブ 坂本みほ子 さん

今月号の主な内容

02 あぐりプラザ情報・健康百科
03 女性部活動だより
06 営農だより
07 おぉがたな話題・「ＪＡみどりの広場」のご案内
08 整備課農機より大切なお知らせ・インフォメーション・理事会報告
09 青年部活動報告と予定・職員人事・フレッシュミズ募集のお知らせ
10 フォトニュース

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。JAグループ
JAグループ秋田キャッチフレーズ
いいねをいっぱい届けたい
JA大潟村

あぐりプラザ トクトク情報

★ポイント３倍デー

７月25日㈬予定

★今月の特売日

７月19日㈭・20日㈮

畠栄・ミスド予定

★土用の丑

７月20日㈮

予約注文承ります！

★お盆おもてなし料理等の予約注文、間もなく承ります！

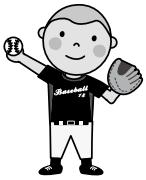
あぐりプラザおおがたの配達サービスをご存じでしたか？

当店でお買物していただいた商品や、電話等で注文していただいたビール・飲料などを、無料でご自宅までお届けするサービス（定期配達）を行っております。車での来店が出来ない方、外出が難しい方はぜひご利用下さい。

※配達時に配達員が、直接商品の代金を受け取ることはできません。お支払方法については、注文の際にあらかじめお知らせください。

配達日 月曜日から土曜日（日曜日は配達お休みです）

※ただし、部活動・大会等のお弁当類は日曜日でも配達いたしますので、どうぞご利用ください。



配達時間 午後3時から午後4時半頃まで

【営業時間】　午前８時30分～午後７時（日曜日も営業しております）　お問い合わせは生活課（45－2214）まで。

健康百科　お年寄りの転倒予防

佐久総合病院名誉院長
松　島　松　翠

年を取ると、下肢も弱り、膝の力も弱くなってくるので、歩いているとき転びやすくなります。お年寄りの日常生活で最も注意しなければならないのは、この転倒です。転倒すると太ももの付け根の骨折を起こすことが多いからです。

しかし、転倒を心配するあまり外出を控えていると、ますます足腰が弱ってしまいます。利用できる物を上手に利用して、積極的に外出し生活を楽しむようにしましょう。

まず足腰が衰えて外出に不安を感じる場合は、「つえ」や「シルバーカー」の使用がお薦めです。つえがあると、体のバランスを取りやすく、歩きやすくなります。また車輪や取っ手の付いたシルバーカーを使うと体が支えられ、歩きやすくなります。

外出するときは、手に提げるバッグではなく、リュックなど両手が自由になる物を使い、両手を空けておいた方が安全です。

靴の選び方も大切です。まず軽くて安定性があること、足のサイズや形に合っていることです。また浅い靴よりもやや深めで、足全体を包み込む靴の方が、安定性があります。靴底は平らに近く、かかとが低いこと、滑り止め加工が施されている靴を選びます。

歩き方も大切です。お年寄りは爪先が上がらず、すり足で小さい歩幅で歩きますが、すり足で歩くと、ちょっとした段差につまずきやすくなり、転びやすくなります。ある程度歩幅を取って、爪先を上げて歩く練習をしてください。

第408号

女性部「活動だより」

☆これからの行事予定

◎７月19日（木）　家の光大会 秋田市　（２ポイント）
◎９月２日（日）・３日（月）　移動研修　仙台
◎11月15日（木）　遺伝子組み換えについての講演（天笠啓裕氏）　ＪＡ会館　ＰＭ２時～　（２ポイント）
◎11月26日（月）　婦人会50周年・女性部45周年記念講演会（坂東真理子氏）
◎12月５日（水）　バレーボールと軽スポーツ大会　（２ポイント）

★盆踊り、参加しませんか

節目の年でもありますので、今年はたくさんの方々と一緒に踊りたいと思います。内容については検討中です。良いアイディアがありましたら執行部までお知らせください。

みんなで楽しく盆踊りを盛り上げたいので、よろしくお願いします。練習日は次号でお知らせします。

（山本嘉子記）

★移動研修について

９月２日（日）・３日（月）、宮城県に行きます。

１日目はキリンビール仙台工場を見学、２日目は仙台市郊外の定義如来（じょうぎにょらい）などを訪れます。定義如来は縁結び、安産を願ってたくさんの人が参拝します。広い敷地に五重の塔などもある、心休まる場所です。門前にはみやげ店がたくさんあり、三角油揚げ、焼きおにぎりなどが人気です。

旅行費用（宿泊・夕食代含む）は２万円くらいの予定です。参加希望の方は、公民館の婦人会担当、あるいは執行部にお申込みください。　（鈴木富士子記）

★活動報告と各種会議報告

◎野菜栽培活動グループ（５月24日～６月７日）

スイカの苗を大きくなった順に、５月24日から順次植えていきました。なかなか育たないので何度も蒔き直して最後は６月７日に定植しました。

この日は、サツマイモ、ネギの定植も。試みとしてトマトの芽欠きをしたものを、そのまま植えてみました。この暑さの中、今では自活しています。驚きです。

ところで、昨年の10月下旬に　第八回日本ジオパーク全国大会2017男鹿半島・大潟大会のエクスカーション９コースの一つ５コース「新たな大地が育んだ自然と恵！」の中での農業体験の時に植えていただいた、玉ねぎとニンニクについては、冬の低温もありましたが、何とか参加者に送ることができて良かったです。（野菜栽培活動グループ記）

たまねぎとニンニク

◎南秋正副会長会（６月16日）

八郎潟町「はちらぼ」での研修でした。町の活性化を目指して、住民が元気に楽しく暮らせる地域づくりをモットーに作られたＮＰＯ法人です。

歩いて買い物ができる便利な町を皮切りに「まちづくり活動センター」として、１階ではパンや惣菜、雑貨を販売し、２階にはサロンがあり、１階から飲み物を運んでもらえて、幼児の遊び場もあります。町外の利用も歓迎だそうです。

通りをはさんで向かいには、魚などのある「はちらぼ商店」がありました。秋田駅トピコの再生に手腕をふるうなど、経験豊富な野原理事長から、今までの経緯や、いかに住民を巻き込み理解を得たか、そして商店街とともに行うこれからの活動が本番だと熱く語っていただきました。

大手にない地域主体の商売に、あぐりプラザに通じるものを感じました。　（山本嘉子記）

◎野菜栽培活動グループ・西５丁目地区の草刈り（６月16日）

大豆の種まきの後、鳩対策にかけた寒冷紗

西５丁目を利用している団体、個人みんなで草刈りをしました。我がグループ員は草刈り機を使えない人もいますが、水道まわりの草を鎌で取り除き、ごみなど拾い草刈りをしやすいようにしました。草刈り作業が終わってから、ゴンベイで大豆の種まきをし、後日鳩対策に寒冷紗をかけました。これで、ハトや、カラスは手も足も出ないだろう。いや嘴でした。この日はナス、ブロッコリー、カリフラワーの定植もして、近くの東屋でいただいた弁当を、みんなでワイワイしながらいただきました。天気は良かったのですが、日陰にいると寒さを感じた日でした。　（野菜栽培活動グループ記）

◎サルビア植栽（農地・水・環境保全）（６月18日）

大潟富士周辺に600本、経緯度交会点に100本、計700本のサルビアをフレミズ６名、女性部12名で植えました。シルバー人材センターの協力のもと、鍬で印に沿って溝を掘り、ジョウロの先の部分を外して粒状の肥料を入れ、簡単に肥料播きをしました。これはシルバー人材の方のアイディアです。

その後にホースで水をかけて苗を植えました。手早い作業でした。綺麗に咲いたサルビアは訪れる人たちを楽しませてくれると思います。（齊藤美智子記）

サルビア植栽に参加したフレッシュミズと女性部員

特集

第49回 通常総会

～剰余金処分案など全議案を可決～

6月27日、ＪＡ会館大会議室で第49回通常総会を行いました。当日の出席状況は、正組合員1，080名のうち本人出席43、委任状2、議決権行使書899となりました。議案は「第49年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件」など5議案と付帯決議で、審議の結果全て可決となりました。

議長の石井雅樹氏（写真左）と相馬時博氏（同右）

来賓の工藤敏行副村長

あいさつする小林肇組合長

開会のあいさつの中で小林肇組合長は、50年間更新されていない村の用排水路のことに触れ、①国は施設の老朽化を認識しているものの、更新については「今後大潟村がどういう農業をするのか」がとても重要で、国の方針に沿った形で営農されないと財務省の説得もうまくいかないという説明が東北農政局よりあったこと。②よって稲作農業からの脱却と、1，000ha規模の高収益作物導入を目指し、たまねぎだけでなく歴史のあるメロンやかぼちゃ、ニンニクなどの規模拡大も併せて進めていくこと。③周辺自治体と連携し、節水型・水質改善型の水利施設の更新を要望していること。などについて述べました。

また、ＪＡ改革については、平成31年度から始まる公認会計士監査の導入に触れ、①公認会計士の求める整備体制、対応ができなければ、監査報酬の増大へと跳ね返り、経営の圧迫へとつながりかねないこと。②そのため、役職員が一体となって内部統制整備に対する意識向上を図り、整備を前倒しで進めること。について述べました。

最後に、平成29年度は県内ＪＡでの不祥事が相次いだことに触れ、この事案を他山の石として、今後とも組合員のためのＪＡであることを忘れずしっかり運営していくことを表明しました。

議長には石井雅樹氏（西1の4）と相馬時博氏（西2の3）が執行部一任で選出されました。両氏の進行で審議が行われ、全てが可決されました。

ＪＡ大潟村では平成30年度の事業重点項目を次ページのとおり掲げ、組合員の皆様の営農と生活を守ることを理念として今後も役職員一同努力してまいります。ＪＡの情報はホームページ（http://www.ja-ogata.or.jp/）でも随時発信しておりますので、ぜひご覧ください。

ご参加ありがとうございました

今後とも貴重なご意見・ご要望をお寄せください

提出議案及び報告事項

報告事項

1．第49年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告の件

2．ＪＡバンク基本方針の一部変更の件

議案

第1号　第49年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件

第2号　定款の一部変更の件

第3号　信用事業規程の一部変更の件

第4号　事業計画の設定の件

第5号　理事及び監事の報酬に関する件

付帯決議

1．決議事項中、行政庁の認可、承認等を必要とするものについて、総会決議の内容を変えない字句等の変更は理事会にご一任願います。

2．年度途中で、事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で当該計画の変更ができることをご承認願います。

特別決議

ＪＡグループの自己改革実践の加速化に関する特別決議

〈ＪＡ店舗との連携による村のライフライン
としての利便性の確立を図る〉

３月にオープンした、ＪＡ直営のコンビニ「ローソン大潟村店」

〈安全・安心農産物の生産振興〉

ＧＬＯＢＡＬ－ＧＡＰ認証を取得した、特産かぼちゃ生産組合の吉原忍組合長（写真右）と菅原史夫さん（同左）

〈野菜の生産振興〉

たまねぎの産地化に向けた栽培技術の確立（たまねぎ現地調査）

平成30年度 事業重点項目

1 指導・販売事業

（営農支援課）

1. 野菜の生産振興
2. 試験研究事業への取組
3. 安全・安心農産物の生産振興
4. 営農支援体制の充実
5. 後継者の農業技術向上への取組
6. 米需給調整への対応

（生活課・生活指導）

1. 高齢者福祉対策
2. 健康管理対策
3. 組織活動の強化
4. エコ運動の推進

2 購買事業

（生活課・店舗）

1. 配達サービスの向上
2. 生鮮部門の強化
3. 利用者サービスの向上
4. 店内外設備の保守修繕
5. 部門採算性の改善

（生活課・コンビニ）

1. ＪＡ店舗との連携による村のライフラインとしての利便性の確立を図る

（資材課）

1. トータル生産コスト低減への取組
2. 多様化する需要への対応

（給油所）

1. 農業生産コスト低減への取組
2. 燃料の安定供給の確立
3. 利用者ニーズに応える事業推進
4. 施設等の維持管理

（整備課・農業機械）

1. 整備業務体制の充実
2. 低コスト化に向けた相談機能の強化
3. 農業機械による農作業事故撲滅の取組
4. ＧＰＳシステムの調査、検討

（整備課　自動車）

1. 整備業務体制の充実
2. 低コスト化に向けた相談機能の強化
3. 事故車受付時の関係部署との連携強化

3 信用・共済事業

（金融課）

1. ＪＡバンク中期戦略に基づく事業展開
2. 利用者基盤の拡充・再構築
3. 人材育成の取組

（経営課）

1. 農業経営の改善・支援に係る充実強化
2. 農業関係資金の対応力強化
3. 収益の確保
4. 相続相談に向けた対応

（審査課）

1. 審査体制の充実
2. 内部牽制機能の強化
3. 広報活動の充実

（共済課）

1. 事業基盤の確保に向けた共済事業実施態勢の強化
2. 共済事業として地域活性化に貢献する取組の強化
3. 共済事業の健全性・信頼性の確保

（企画課）

1. 特産品・ＪＡ宣伝活動
2. 組合員研修・ＪＡまつり・座談会の充実

4 総務

（総務課）

1. 内部統制整備に向けた取組及び確立
2. 自己資本の増強と部門採算性の確立
3. コンプライアンス態勢の確立
4. 人事育成基本方針に伴う職員の職務遂行能力の充実
5. 収益の安定化に向けたリスク管理の強化

〈特産品・ＪＡ宣伝活動〉

秋田ノーザンハピネッツへの協賛および、大潟小学校児童を試合観戦に招待

〈ＪＡバンク中期戦略に基づく事業展開〉

複雑で面倒な年金の手続きをお手伝いし、疑問や不安を解消してもらう年金相談会

〈ＧＰＳシステムの調査、検討〉

ＧＮＳＳ（全地球衛星測位システム）直進アシスト田植機による実証研究

営農だより

※このコーナーは隔月で掲載致します。

園芸作物の栽培に取り組む大潟村の生産者を紹介していきます。

今回は番外編その２として、秋田在住よしもと芸人「ちぇす」の２人がかぼちゃの定植に挑戦した模様をレポートします。

ちぇす

長谷川瞬さん（38歳）、若松弘樹さん（37歳）の漫才コンビ。2002年結成。ともに秋田県秋田市出身。今年から「秋田県住みます芸人」の桂三河さんとともに、大潟村のかぼちゃ栽培をお手伝いし、その様子をインターネットで発信中

初めての本格的な農作業の感想は

〈若松〉農業は初体験なので、コツをつかむまで大変でした。定植のやり方１つ見ても、スマートに作業する男（若松）と慎重に作業する男（長谷川）の個性が出ますね。でも終わってみて、たわわに実ったかぼちゃがイメージできました。今から収穫が待ち遠しいです。

大潟村のかぼちゃをPRするにあたっての意気込みは

〈長谷川〉かぼちゃ栽培はおろか、農業については全くの素人なので、いっぱい勉強して色んな知識を吸収したいです。そして最終的に立派なかぼちゃになります！

どんなかぼちゃに育ってほしいですか

〈若松〉甘くてわんぱくなかぼちゃに育ってほしいので、思いっきり甘やかして育てたいです。

マルチをかけた上から穴をあけ、

かぼちゃが土の下にできると思っていたちぇす・長谷川さん

ハウスで育った苗を、圃場に運んで定植します

定植のお手本をみて、いざチャレンジ！

薬を投入します

土を掘り、

泥だらけですが、まだまだ元気なちぇすの２人

植え付けます

ポットから苗を取り出し、

活動の様子は、「よしもと住みます芸人47web 秋田」http://47web.jp/akita/
「長谷川瞬Twitter」 https://twitter.com/noelshun
「ちぇす若松弘樹Twitter」 https://twitter.com/HV3qxG5CxYIDi6C
「桂三河の出来るだけやるブログ」 https://ameblo.jp/sanga1600m
からチェックできます。ぜひご覧ください！

おおがたな話題

第19回　“人みがき”の苦い歴史から学ぶもの

前号で、デンマークの陶冶形成（ダンネルセ）という“人みがき”の伝統を取り上げた。それは、「生活形式の民主主義」*とも呼ばれるように同国の社会生活の中に深く根を下ろし、内村鑑三のいう剣を捨て信仰と鋤によって平和な国の建設を図る国の進路と深く呼応するものだった。

その魅力は内村や東京帝大教授那須皓など日本の先覚者たちを強く引きつけ、大正期までには農業教育の場にも導入された。たとえば1915（大正４）年、デンマーク国民高等学校を範に山形県立自治講習所（加藤完治校長）が開所された。同所10年余の成果を元に、昭和２年、「農場即道場」を掲げる社団法人日本国民高等学校協会が同じく加藤を校長に開校した。そして間もなく昭和７年、農林省が直に修練農場「農民道場」を新設した。同時期、神道やキリスト教の立場から生徒の全人格陶冶をねらう私塾も盛んになった。

だが、それらは、内村が望んだ道とは真逆の、日本の帝国主義的な路線を強化する下で行われた。そのため、実践重視の教育は、それ自体、銃後で窮乏化する農業・農村の苦難に立ち向かう中核的担い手の養成に力を発揮する一方、他方で国家主義的皇国思想や統制などの国家目的に強力に動員され、やがて満州開拓移民の中核的人物育成等に大きく貢献していった。

この彼我の違いから学ぶものを、あえて２つあげたい。１つは、“人みがき”の目的とは、何よりも、ある個人がある地に根を下ろし、より良く生き抜く術を身につけるためにこそあること、２つは、その地その地の生活に根ざした発言を強い意思力に撚り合わせて国の意思決定に行使できるようになることだ。

＊ハル コック著『生活形式の民主主義―デンマーク社会の哲学』2004

〈つづく〉

秋田県立大学名誉教授
佐藤　了

（さとう　さとる）
1949年秋田県生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程単位取得。農林省農事試験場、農林水産省農業研究センター、東北農業試験場で試験研究に従事。1997年に秋田県立農業短期大学教授に就任。秋田県立大学生物資源科学部教授、学部長を経て、2014年３月定年退職。専門は農業経済と地域計画。

７月21日放送のAKT秋田テレビ「JAみどりの広場」は、大潟村のたまねぎがテーマです。

出演者　大潟村農業近代化ゼミナールの皆さん
野菜ソムリエ・藤村幸さん（大潟村）
大潟小学校・菜の花クラブの皆さん

大潟村農業近代化ゼミナールの皆さん

大潟小学校・菜の花クラブの皆さん

野菜ソムリエ・藤村幸さん（大潟村）

AKT秋田テレビ　７月21日（土）午前11時～放送予定です。どうぞご覧ください！

整備課農機より大切なお知らせ

刈払機使用中の事故にご注意ください！

農作業中の刈払機（草刈機）による死亡事故は、毎年10人前後で推移しています。また、消費者庁の情報によると、刈払機による事故情報は平成29年７月から平成30年４月の間に11件寄せられており、被害に遭われた方の約半数は60歳以上でした。

梅雨明け前後は、ほ場周辺の除草作業等、刈払機（草刈機）を使う機会が増えることから、皆様におかれましては、刈払機の適正な使用を心がけ、事故の防止に努めていただきますようお願いいたします。

刈払機の適正な使用を！

刈払作業中の事故

- 竹にあたった刃が跳ねて、右足を受傷
- 飛散した植物の破片により右目を受傷
- エンジンを切らずに絡まった草を取り除こうとした際、手を受傷

事故防止のため、次の点を必ず守りましょう

- ☑ 取り扱い説明書を読みましょう。
- ☑ 保護具を身につけましょう。（保護眼鏡、ヘルメット、安全靴、すねあて、作業手袋（軍手×）等）
- ☑ 肩掛けバンドを装着しましょう。（適正な長さで装着すると、転倒した際、刈刃が身体に触れにくくなります）
- ☑ 周囲に人がいないことを確認しましょう。
- ☑ 高所の枝払いなど、目的外使用はやめましょう。
- ☑ 刈る草が柔らかい場合や、構造物周辺での作業では、ナイロンカッターを使用しましょう。
- ☑ 刃に草や異物が詰まったときはエンジンを停止する、バッテリーを外す等の対策をとりましょう。

（独）国民生活センターが詳細な情報を提供していますので参照下さい。 国民生活センター　刈払機　検索

Information

農機・自動車展示会のご案内

整備課では夏のふれあい展示会を下記のとおり開催いたします。各種農業機械・自動車を取り揃えてお待ちしておりますので、ぜひご来場ください。

日時：７月26日（木）・27日（金）
26日　午前９時～午後４時
27日　午前９時～午後３時半まで

お問い合わせは農機（45−2585）・自動車（45−2411）まで

理事会報告

６月11日開催

報告事項
・第49回通常総会提出議案及び報告事項の変更について

議　　案
第24号　平成30年度事業計画の一部変更について

６月22日開催

報告事項
・業務報告について（５月末事業実績等）
・コンプライアンス委員会報告について
・安全衛生委員会報告について
・たまねぎ乾燥・貯蔵・調製施設建設委員会報告について
・アグリマイティー資金貸付要項の一部改正について
・農林中金の自己資本政策に対する協力について

議　　案
第25号　平成29年度期末監事監査意見書に対する回答について
第26号　平成31年度職員採用試験について
第27号　夏期手当の支給について
第28号　貸付金について
第29号　平成29年度産地パワーアップ事業に係る工事請負契約の締結について

青年部 活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひＪＡ大潟村営農支援課（TEL：45-3033）までご連絡ください！

●活動報告

６月12日　ゴルフ交流コンペ
６月15日　正副部長会議（ＪＡビル　相馬、豊島、今野参加）
６月18日　圃場巡回　さなぶり（秋田市）
７月６日　ＪＡふるさと青年部20周年記念大会

●活動予定　未定

職　員　人　事

退　職　組合員の皆様、ありがとうございました。

６月11日付　石井　　勇（資材課・臨時職員）
お疲れ様でした。

異　動　職員の人事異動を行いましたのでお知らせいたします。

７月１日付

氏　名	新　任	旧　任
藤田　徹	監査課課長	総務課課長
杉本　公三	総務課課長	資材課課長
石戸　悟郎	資材課課長	監査課課長
畠山　深雪	生活課店舗係係長	経営課貸付係係長
髙橋　健一	資材課資材係係長	金融課総合推進係係長
仙北屋真弓	金融課貯金係係長	金融課貯金係主任
石川　大介	金融課総合推進係主任	共済課共済係主任
野呂田舞子	金融課貯金係主任	金融課貯金係
浜田　雄介	総務課経理係主任	整備課自動車整備係
宮国　淳	営農支援課営農指導係主任	営農支援課営農指導係
佐藤　豊和	給油所給油係	整備課自動車整備係
柏崎　裕紀	共済課共済係	資材課資材係

臨時従業員の人事異動を行いましたのでお知らせいたします。

氏　名	新　任	旧　任
伊東　寛紀	経営課貸付係	資材課資材係
加藤　航	営農支援課販売係	資材課資材係

－五城目警察署からのおしらせ－

～後部座席もシートベルトの着用を～

秋田県内の一般道路におけるシートベルト着用率は、運転席、助手席ともに９割を超えていますが、後部座席のシートベルト着用率は低く、全国平均を下回り、高速道路での着用率も運転席・助手席と比較して低くなっております。

シートベルト、チャイルドシートは、交通事故から命を守り、負傷の被害を軽減します。

大切な命を守るために、全席シートベルト着用を習慣化しましょう。

五城目警察署　TEL 018-852-4100

フレッシュミズ 会員募集

仲間がいるから笑顔になれる

フレッシュミズでは、お茶会・移動研修＆ランチ・教養講座・料理講習会など楽しい企画を開催予定です♪

お友達同士誘い合っての参加も大歓迎☆会員じゃない方でも“お試し会員”として年２回フレミズ行事に参加できます！お気軽にご参加ください♡

お申込み・お問い合わせ

お近くのフレミズ会員またはあぐりプラザ（生活課担当：平塚さん　TEL 45-2214）まで

ＪＡ大潟村の概況　30年６月末現在

貯　金…288億4,498万円　　正組合員数……1,080名
貸出金…　82億　697万円　　准組合員数……　　41名
出資金…　　9億3,645万円

がんばれ！大潟ドリームス

野球ボールを贈呈

共済課は6月5日、野球スポーツ少年団「大潟ドリームス」へボール3ダースを贈呈しました。

ＪＡ共済では毎年、生活福祉活動の一環として、学童の体力増強と健全なスポーツ精神の育成を図ることなどを目的に「ＪＡ共済学童野球大会」を開催しており、県内14ＪＡの管内代表が頂点を目指します。ボール贈呈は、大会へ参加する同チームを応援するために毎年行っているものです。今年の大会は9月8・9日開催予定です。

高橋勇輝常務からボールを受け取った三村正義(まさよし)主将は、「このボールを使って練習に打ち込み、まずは県大会突破を目指して頑張りたい」と抱負を述べ、チーム一丸となって戦うことを誓いました。

高橋勇輝常務（写真左）からボールを受け取った三村正義（まさよし）主将（同右）

大潟ドリームスの皆さん、今年も熱戦を期待します！

農林水産事務次官

奥原正明氏が大潟村を訪問

6月16日、農林水産事務次官の奥原正明氏が大潟村を訪れ、村内圃場視察と、村内および周辺市町村関係者との意見交換会を行いました。

奥原事務次官は初めに、たまねぎ生産組合の菅原和幸組合長の圃場を訪れ、現在ＪＡが農業所得増大のために取り組みを進めているたまねぎの圃場を視察しました。

次に、長年家族ぐるみで交友がある岩井真二さんの圃場を訪れ、有機栽培米の圃場を視察しました。

最後に、意見交換会の会場であるホテルサンルーラル大潟で、奥原事務次官が農政改革等について講演した後、村内および周辺市町村の関係者と大潟村農業のこれからについて、率直な意見交換を行いました。

長年家族ぐるみで交友がある、岩井真二さんの有機栽培米の圃場視察

たまねぎ圃場の視察

意見交換会の様子

奥原正明農林水産事務次官（写真中央）

生育は順調です

第1回かぼちゃ現地研修会

営農支援課と特産かぼちゃ生産組合（吉原忍組合長）は6月22日、第1回かぼちゃ現地研修会を開催し、37人の生産者が圃場3箇所とハウス2箇所を巡回しました。

ＪＡでは農業者の所得増大と農業生産拡大のため、水稲育苗後のハウス利用の推進に努めています。

今年は65農家とＪＡ青年部などの村内組織が、全体で14・8ヘクタール栽培しています。

大雨の影響でかぼちゃの生育にばらつきが出たものの、5月後半からの好天によって回復し、生育はおおむね順調とのことです。

圃場での研修会

ハウスでの研修会

JAだより おおがた
〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-5　TEL 0185-45-2211㈹　FAX 0185-45-2273
インターネットアドレス http://www.ja-ogata.or.jp/　組合長ブログ http://blog.ja-ogata.or.jp/
発行／大潟村農業協同組合　印刷：㈱八郎潟印刷